

2020年度 第3回 赤坂ふれあいコンサート(No58)

ポルトガルギターとマンドリンの新しい挑戦 【マドロシズム憧憬】 ～ 南蛮&ノスタルジア ～



後援
●ポルトガル大使館
●マカオ政府観光局
●一般社団法人日本ポルトガル協会

日本における
ポルトガルギターのパイオニア
湯浅隆と、
マンドリン界をリードする
吉田剛士による
アコースティックユニット



Marionette

Photo by Jun Kishimoto

出演

〈マリオネット〉

湯浅 隆、吉田 剛士
ゆあさ たかし よしだ ごうし

演奏曲

暗いはしけ、南蛮渡来、
日曜はダメよ、花の葬列 他



日時 : 2020年12月19日(土)14:00開演 (13:30 開場)
会場 : 赤坂区民センター 区民ホール (100名)

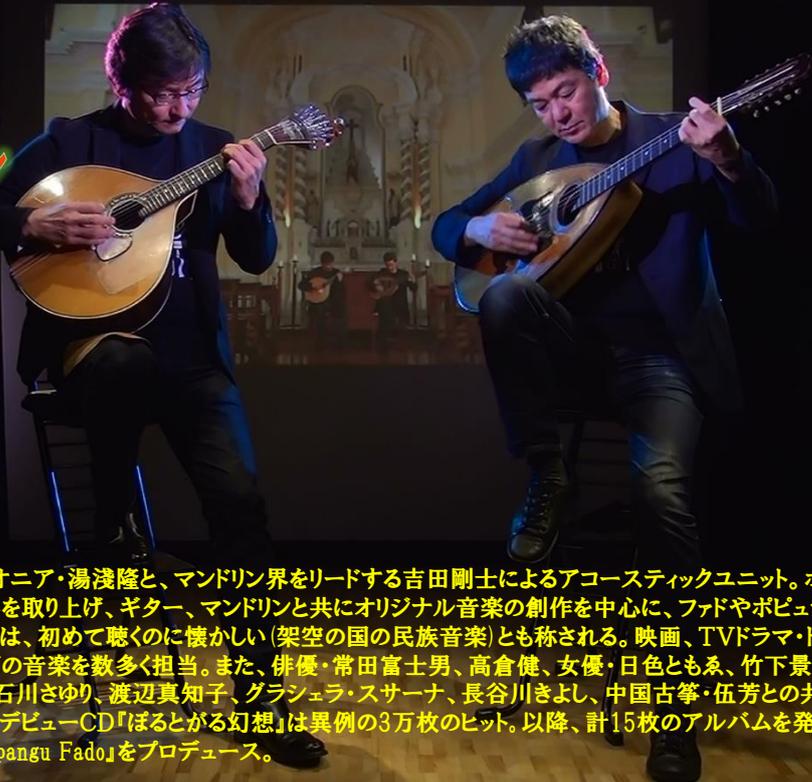
■ 入場料 : 500円 (全席自由) 要予約・先着順 ※未就学児の入場はご遠慮ください。

■ 申込方法: 事前申込みは電話またはKissポートHP <https://www.kissport.or.jp/index.html>
で受け付けます。チケットは当日13:30までに引き換えをお願いします。

■ 主催・お問合せ : 赤坂区民センター TEL:03(5413)2711

主催: 赤坂区民センター (指定管理者: 公益財団法人港区スポーツふれあい文化健康財団)

Profile プロフィール



マリオネット

日本におけるポルトガルギターのバイオニア・湯浅隆と、マンドリン界をリードする吉田剛士によるアコースティックユニット。ポルトガルギターやマンドリュートなど演奏者の少ない楽器を取り上げ、ギター、マンドリンと共にオリジナル音楽の創作を中心に、フアドやポピュラー音楽まで幅広く活動。その唯一無二の個性的サウンドは、初めて聴くのに懐かしい(架空の国の民族音楽)とも称される。映画、TVドラマ・ドキュメンタリー、TV番組テーマ曲、CM、バレエ・演劇などの音楽を数多く担当。また、俳優・常田富士男、高倉健、女優・日色ともゑ、竹下景子を始め、パントマイム・清水きよし、歌手・リィ、石川さゆり、渡辺真知子、グラジェラ・スサーナ、長谷川きよし、中国古箏・伍芳との共演など、様々な分野とジョイントして精力的に活躍。95年のデビューCD『ぼるとがる幻想』は異例の3万枚のヒット。以降、計15枚のアルバムを発表。2013年には日本のフアド史をテーマとした2枚組CD『Zipangu Fado』をプロデュース。

また『徹子の部屋』『スタジオパークからこんにちは』を始め、多数のテレビ・ラジオに出演すると共に、BGMとしても数多く使われている。各地ライブ活動の他、豪華客船「飛鳥II」ワールドクルーズでの演奏も。1998年に開催されたリスボン国際博覧会EXPO'98の日本館主催ジャンパデーのイベントに日本代表で出演。また、同博覧会の「Festival de Guitarra Portuguesa na Expo'98」に日本人では唯一招待。2013年「第6回石見銀山文化賞・特別賞」受賞。同年、日ポ友好470年の記念にポルトガルにて470周年記念コンサート「The Way of Namban/南蛮ぎたるらの世界」を開催、また堺市よりの依頼で「南蛮Sacay」を作曲。2014~2017年大分むぎ焼酎「二階堂」のTVCMが全国放送。2015年ポルトガル大使館より日ポ両国の文化面での関係発展への貢献が認められ「ジョアナ・アブランシェス・ピント賞」を受賞。2016年高知県梶原町より「ゆすはら未来大使」に任命。2017年大分日本ポルトガル協会設立40周年記念曲(杉村忠彦会長より依頼)「南蛮BVNGO」を作曲、同曲は大分市公式動画サイト「いいやん!大分」で公開中。2018年4月~2019年4月、アサヒ飲料炭酸水「ウィルキンソン」のWebCMに長谷川きよし、ロン・カーターとの共演曲「いつものBarで逢いましょう」が使われた。2020年大分市医師会立アルメイダ病院50周年記念曲「アルメイダの聖鐘」「南蛮天使アルメイダ」熊本県天草市文化課世界遺産・文化財係よりの依頼で「長崎と天草地方の潜伏キリシタン関連遺産」世界遺産登録一周年記念曲「南蛮AMACUSA」を作曲。近く大分銘菓「さびえる」の新TVCMを担当。

湯浅 隆 Takashi Yuasa (ポルトガルギター奏者)

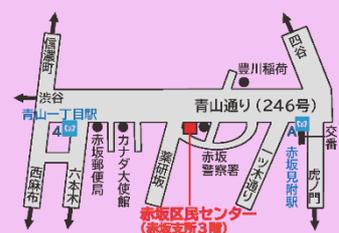
14才でギターを始め、日本ギター音楽学校を経てクラシックギターを小野剛蔵氏に師事。ポルトガルギターを巨匠アントニオ・シャイニョ氏、アマリア・ロドリゲスのバックギタリスト、カルロス・ゴンサルベス氏に師事。我が国におけるポルトガルギターのバイオニアとして、フアド(ポルトガルで生まれた民衆・大衆歌謡)だけでなく日本人ならではの独自の境地「南蛮ぎたるら」を展開中。マリオネットとして、オリジナル曲を中心に音楽活動を行なう傍ら、近年は作詞・作曲家として楽曲提供(グラジェラ・スサーナ「唐街雨情」他)も積極的に行っている。2010年よりマカオ観光局音楽大使。2013年「第6回石見銀山文化賞特別賞」受賞、同年日ポ交流470周年を記念して堺市の依頼により「南蛮Sacay」を作曲、ポルトガルにて470周年記念コンサート「The Way of Namban/南蛮ぎたるらの世界」を開催、2015年ポルトガル大使館より「ジョアナ・アブランシェス・ピント賞」を受賞、2017年大分日本ポルトガル協会設立40周年記念曲「南蛮BVNGO」を作曲するなど「南蛮文化」「ポルトガル」という文脈の中でも確かな評価を得ている。

吉田 剛士 Goshi Yoshida (マンドリン奏者)

15才でマンドリンを始める。川口雅行氏に師事。ドイツ国立ウッパータール音楽大学にてマーガ・ヴィルデン・ヒュスゲン女史に師事、同校演奏家資格試験を最高点で卒業。NHK洋楽オーデション合格。マリオネットとしての活動の中で新たなマンドリン音楽の確立に力を注ぐ一方、古典作品やマンドリン全般への造詣の深さを生かし、日本で唯一のマンドリン専門誌「奏でる!マンドリン」の監修、各マンドリンコンクールの審査員を務めるなどマンドリンの普及発展にも貢献している。マリオネット作品を専門に演奏する「マリオネット・マンドリンオーケストラ」ならびに、全国のマンドリン合奏愛好家を100名以上集めて組織する「ZIPANGU マンドリンオーケストラ」を主宰。2019年3月より、大分にて「南蛮BVNGOマンドリンオーケストラ」を結成、同年より一般社団法人日本マンドリン連盟副会長。

〒107-0052 港区赤坂4-18-13
赤坂コミュニティぷらざ内

- ◆地下鉄 赤坂見附駅 (A出口)、青山一丁目駅 (4番出口)
より徒歩10分。赤坂駅より徒歩15分。
- ◆ちいばす 赤坂ルート、青山ルート
「赤坂地区総合支所前」下車



主催: 赤坂区民センター (指定管理者: 公益財団法人港区スポーツふれあい文化健康財団)